

平成30年度 社会福祉法人愛光園 事業計画 基本方針及び重点目標

【30年度基本方針】

障がいの有無・介護の要否にかかわらず個人の尊厳が保たれ、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう地域生活支援を推し進めつつ、職員がより働きやすく働きがいのある環境を整えます。

【30年度重点目標】

1. その人らしい生き方を支援します。

(1) 支援の意味を改めて考え、活かします。

介護・支援を提供するのではなく、誰もが暮らしやすいまちづくり・社会づくりが目的

自立支援・権利擁護の観点から、介護・支援の意味を問い直す
意思決定支援・アセスメント・個別支援計画の意味を再確認

(2) 地域での福祉ニーズに応えます。

精神障がいの方への支援を学ぶ

重度の障がいのある方の支援ノウハウの情報発信

強度行動障がいの方の支援モデル

高齢障害者・医療ニーズ対応

(3) 地域での生活を応援します。

地域包括ケアの社会資源の1つとしての役割を果たす

老人保健施設相生の「在宅復帰」

住環境の整備

グループホームの住み替え・ハードの更新

2. 人材の確保・育成を進めます。

(1) 人材の確保・育成を進めます。

採用の仕組みの強化←船井総研等のコンサル

研修体系の見直し

実務者研修・吸痰研修の自施設を会場として実施

(2) 明るく働きがいがあり、働き続けられる職場をつくり努めます。

キャリアパスの見直し

給与体系の見直し

表彰制度等モチベーションを高める取り組み

(3) 多様な人材の活用を図ります。

役割等に応じた働き方と処遇

外国人の活用

子育て中の職員も働きやすい環境整備

3. 新しい時代にあった法人経営を展開していきます

- (1) 公益性の高い社会福祉法人として内部統制の強化に努めます。

会計監査人の導入準備

- (2) 地域貢献・情報発信・地域連携をすすめます。

認知症サポーター養成研修

バザー等の開催

事業所見学会

- (3) 制度改定への対応